

でなく、實に、労働組合運動に於ける大右翼結成への第一歩であり、官業労働者強化への一大貢献であり、それと同時に産業別整理への魁である。

一九二九年度に於ける兩組合の合同促進運動は、畢竟失敗に終りたるも、此の失敗に依つて與へられたる幾多の貴重なる教訓は、必ずや来る可き三〇年度に於て、兩組合員大衆への斷へざる呼び掛けと、合同を繞る客觀的情勢の良化によつて、一部の宗派的對立主義者を克服し、教育して、力強き合同運動への指南車となるであらう。

財政は、市議戦を轉期として著しく堅實化されるに到つた。「最少費用による最大闘争力の發揚」を目標として進みつゝあることは大いに慶ぶべきことである。

### 二、社會民主主義の捷利

全九州に於ける吾黨一ケ年の驚異的進出は、吾八幡支部に在りて最も顯著であつた。

此の事實を、端的に語るものは、民憲黨の野垂死である、勤勞無産市民の吾黨に對する自熱的支持と信頼の歴力こそ昭和四年九月八日民憲黨を自滅せしめたる最有力の原因であつた。

同日、日本大衆黨福岡縣聯合會の創立を見、其の本部が八幡に措かれたるも、其の實質は舊民憲黨を一步だに出づるものでなく、譬ふれば、それは死せる民憲黨の墓場の上に樹てられたる新しき卒塔婆に過ぎない。

自黨の行詰りを打開する唯一の戰術として、常任坐臥、吾黨に對する不實の逆宣傳と大衆との離間策に狂奔したので一九二九年度に於ける彼等の行動の總てであつた。

けれども、市民大衆の政治的自覺深まるころ、彼等の醜体が白日の下に曝露される處吾等の奉ずる社會民主主義の大旗獨り、發展の生氣を帯び、勝利の榮光に輝く。

市會行動に於ても、吾黨議員團の「八幡市の特殊事情を考慮しつゝ、勤勞無産市民のための闘争」なる社會民主主義の眞精神に照應する眞面目にして健實なる言動は、能く市民大衆の信望、期待を繋ぎ得るに到つた。

右に、利權本位の待合政治屋の集團「公新會」を破破し、左に、新聞宣傳本位、無産黨の假名を被る日本大衆黨のガチャ輩を排撃して、彼等の跳梁跋扈に依つて腐敗窮乏に喘ぐ八幡市政財政を救ふことは、吾黨に課せられたる最高責務の一でなければならぬ。

#### 八幡市政分野(定員三十六、一名欠)

民政社民  
政友民政  
衆友民政  
五九九二

### 三、黨勢概観

#### 分會一覽 自昭和四年十一月至昭和四年十一月

分會名	創立	所在地	分會書記長	選出市會議員名
大藏分會	昭和三年十二月	八幡市梶田六條一丁目今岡與市方	一、吉田善次郎	今濱岡橋與市作
枝光分會	昭和四年一月	全枝光諏訪町二丁目石橋橋和一丁目方	二、松浦勇	松尾政六
中央區分會	昭和四年三月	全丸山町五丁目仲山西五丁目方	三、新田和助	
尾倉分會	昭和三年十一月	全幸子町六丁目義知方	二、安日義新	安大路日義新
前田分會	昭和三年十二月	全京町三丁目三島德方	三、早田猪六	吉木永重藏涼